

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史

科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1～7組： ）

使用教科書： （ 高等学校 新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院） ）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 ○地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	○地形の形成要因や災害への対策、各気候ごとの人々の工夫等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 ○時差やGISがどのように活用されているか等について諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 ○気候、宗教歴史的背景や産業等がそれぞれの地域の生活とどのように関わっているのか諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。	○世界の各地形や気候、日本の災害や防災について意欲的に学ぶ。 ○時差、地図、GISや日本の領域等について意欲的に学ぶ。 ○世界の諸地域と気候、宗教、歴史的背景や産業等との関わりについて意欲的に学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】 各地形とそれぞれの地形が人々の生活に与える影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地形の形成要因を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各地形が与える影響について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・大地形と人々の生活 ・変動帯と人々の生活 ・安定地域と人々の生活 ・河川がつくる地形と人々の生活 ・海岸の地形と人々の生活 ・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各地形とそれぞれの地形が人々の生活に与える影響を理解することができている。 【思考・判断・表現】 各地形の形成要因を諸資料やグループワーク等をもとに考察し、判断・表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各地形が与える影響について意欲的に学ぶことができている。	○	○	○	7
	単元 自然環境と防災 【知識及び技能】 日本で発生する自然災害、またその発生要因について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各災害に対してどのような対策が必要か諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本で発生する災害、またその対策について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本で発生する自然災害、またその発生要因について理解することができている。 【思考・判断・表現】 各災害に対してどのような対策が必要か諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本で発生する災害、またその対策について意欲的に学ぶことができている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	単元 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 各気候区の分布や特徴を人々の生活との関わりを踏まえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各気候ごとの農業や人々の生活の工夫等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各気候の特徴や気候ごとの人々の生活について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・気温・降水と人々の生活 ・大気循環と人々の生活 ・熱帯の生活 ・乾燥帯の生活 ・温帯の生活 ・亜寒帯・寒帯の生活 ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各気候区の分布や特徴を人々の生活との関わりを踏まえて理解することができている。 【思考・判断・表現】 各気候ごとの農業や人々の生活の工夫等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各気候の特徴や気候ごとの人々の生活について意欲的に学ぶことができている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史

科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（3・6組： ）（1・2・4・5・7組： ）

使用教科書：（現代の歴史総合 みる・読みとく・考える（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組み姿勢を身に付ける。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○アジアと欧米の近代化について理解する。 ○二つの大戦による国際秩序の変化やそれに伴う大衆への影響について理解する。 ○冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について、考察し、理解する。	○アジアと欧米の近代化について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 ○二つの大戦による国際秩序の変化やそれに伴う大衆への影響について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 ○冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。	○アジアと欧米の近代化について意欲的に学ぶ。 ○二つの大戦による国際秩序の変化やそれに伴う大衆への影響について意欲的に学ぶ。 ○冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について意欲的に学ぶ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学期 単元 近代化と私たち 1、結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】 アジア諸地域の発展と日本の関わりについて、経済的な面から多角的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の開国とヨーロッパの動きの関連性について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米と日本の近代化について様々な観点から意欲的に学ぶ。	○指導事項 18世紀の東アジアにおける社会と経済、貿易が結んだ世界と日本、産業革命、中国の開港と日本の開国 ○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、現代の歴史総合要点整理テスト、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 アジア諸地域の発展と日本の関わりについて、経済的な面から多角的に理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の開国とヨーロッパの動きの関連性について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米と日本の近代化について様々な観点から意欲的に学ぶことができる。	○	○	○	10
単元 近代化と私たち 2、国民国家と明治維新 【知識及び技能】 明治維新と当時の国際関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新と欧米の関りについて、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 既存の知識から明治維新や帝国主義、植民地などについてから意欲的に学ぶ。	○指導事項 市民革命、国民国家とナショナリズム、明治維新、日本の産業革命、帝国主義、変容する東アジアの国際秩序、日露戦争と東アジアの変動 ○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、現代の歴史総合要点整理テスト、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 明治維新と当時の国際関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新と欧米の関りについて、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 既存の知識から明治維新や帝国主義、植民地などについてから意欲的に学ぶことができる。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3、総力戦と社会運動</p> <p>【知識及び技能】 一次大戦から戦間期における国際情勢の変化やそれに伴う人々の生活への影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 一次大戦が起きた理由を経済面・政治面から諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 一次大戦が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶ。</p>	<p>○指導事項 第一次世界大戦の展開、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界経済の変容と日本、アジアのナショナリズム、大衆の政治参加、消費社会と大衆文化</p> <p>○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、現代の歴史総合要点整理テスト、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 一次大戦から戦間期における国際情勢の変化やそれに伴う人々の生活への影響について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 一次大戦が起きた理由を経済面・政治面から諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 一次大戦が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶことができる。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 国際秩序の変化や大衆化と私たち 4、経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 第二次世界大戦前後の国際秩序と日本の民主的な改革について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦前後の国際秩序の変化や日本の民主的な改革について、グループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 大戦の時代が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶ。</p>	<p>○指導事項 世界恐慌の時代、ファシズムの伸長と共産主義、ファシズムの伸長と共産主義、日中戦争への道、第二次世界大戦の展開、第二次世界大戦下の社会、国際連合と国際経済体制、占領と戦後改革、冷戦の始まりと東アジア諸国の動向、日本の独立と日米安全保障条約</p> <p>○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、現代の歴史総合要点整理テスト、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 第二次世界大戦前後の国際秩序と日本の民主的な改革について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦前後の国際秩序の変化や日本の民主的な改革について、グループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 大戦の時代が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶことができる。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>単元 グローバル化と私たち 5、冷戦と世界経済</p> <p>【知識及び技能】 冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の流れを諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代における世界や日本の課題とその解決策について意欲的に調査する。</p>	<p>○指導事項 冷戦下の地域紛争と脱植民地化、東西両陣営の動向と1960年代の社会、軍拡競争から緊張緩和へ、地域連携の形成と展開、計画経済とその波及、日本の高度経済成長、アジアのなかの戦後日本</p> <p>○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、現代の歴史総合要点整理テスト、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の流れを諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代における世界や日本の課題とその解決策について意欲的に調査することができる。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	合計						70

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1～7組）

使用教科書：（詳述 公共（実教出版））

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 社会を作る私たち 【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会に参画する自立した主体についての自覚を深める。	・指導事項 ・生涯における青年期の意義 ・青年期と自己形成の課題 ・職業生活と社会参加 ・現代社会と現代の生き方 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	7
	単元 人間としてよく生きる 【知識及び技能】 自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ・ギリシアの思想 ・人間の尊重 ・個人と社会 ・主体性の確立 ・他者の尊重 ・公正な社会 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	単元 社会とは何か 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務などの基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、基本的な原理について理解する。	・指導事項 ・人間の尊厳と平等 ・自由・権利と責任・義務 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度 (2学年用) 教科

地理歴史 科目 世界史探究

教科: 地理歴史 科目: 世界史探究

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 1・4・7 組

教科担当者: ()

使用教科書: (世界史探究 詳説世界史 (山川出版社))

教科 地理歴史

の目標:

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 世界史探究

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解する。 ○諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	○世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。 ○世界の歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	○世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、世界の中の日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第9章 大交易・大交流の時代 第11章近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 ・大交易、大交流が始まった背景を理解している。・ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。 【思考力】 ヨーロッパ人の進出やルネサンスがアジアや中南米の人々にもたらした影響を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学入試に対応する学力を身につけるとともに、主体的に歴史学習に取り組む姿勢を育む。	・指導事項 ・大交易・大交流の時代 ・ルネサンス ・教材 ・詳説 世界史探究 ・最新世界史図説 ・ウイニングコンパス ・一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 ヨーロッパの海洋進出やルネサンスについて、その動機や背景、経緯を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やルネサンスに関する資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容やルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第11章近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 ・ルターやカルヴァン派、国教会の宗教改革とのそれまでの教会改革との違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力】 主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学入試に対応する学力を身につけるとともに、主体的に歴史学習に取り組む姿勢を育む。	・指導事項 ・宗教改革 ・主権国家体制の確立 ・啓蒙思想 ・教材 ・詳説 世界史探究 ・最新世界史図説 ・ウイニングコンパス ・一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 【思考力、判断力、表現力】 「九十五カ条の論題」や『ウェストファリア条約』などの資料をもとに、宗教改革、主権国家体制の成立の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 宗教改革や主権国家体制の確立、啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	

2 学 期 (中 間)	<p>単元 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民 国家の形成</p> <p>【知識及び技能】 ①海外貿易が近世ヨーロッパ経済の 動向に与えた影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 イギリス産業革命が世界経済や社会 に与えた影響を多面的・多角的に考 察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学入試に対応する学力を身につ けるとともに、主体的に歴史学習に 取り組む姿勢を育む。</p>	<p>・指導事項 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・教材 ・詳説 世界史探究 ・最新世界史図説 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をた どって独立したのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口 を示す統計をもとに、産業革命が社会に与え た影響を多面的・多角的に考察し表現してい る。アメリカ独立宣言や「権利の章典」(第11 章4節)などの資料をもとに、アメリカ合衆国 独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現し ている。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命やアメリカ独立革命について、自分が 抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいこと などを見出して、見通しを持って学習に取り組 もうとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2 学 期 (期 末)	<p>単元 第13章 イギリスの優位と欧米国民 国家の形成</p> <p>【知識及び技能】 ・革命中のフランス国家体制の変遷 や革命が諸外国に与えた影響を理解 する。 ・人権宣言とアメリカ独立宣言を比 較し、共通点と相違点を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ナポレオンの支配に対する人々の反 応を多面的・多角的に考察し表現す る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学入試に対応する学力を身につ けるとともに、主体的に歴史学習に 取り組む姿勢を育む。</p>	<p>・指導事項 ・仏革命とナポレオンの支配 ・ウィーン体制とその崩壊 ・教材 ・詳説 世界史探究 ・最新世界史図説 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 フランス革命が起こった要因やナポレオンが 台頭した背景を理解している。19世紀前半 のヨーロッパ情勢がどのように推移したの かを、ウィーン体制や1848年革命、さまざま 主義主張の特徴とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「旧体制」の 風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料 をもとに、フランス革命において「国民」を 主役とする社会が創出されたことについて、 多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近代の産業と生活について主体的に追究しよ うとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元 第13章 イギリスの優位と欧米国民 国家の形成</p> <p>【知識及び技能】 クリミア戦争における英仏露のそれ ぞれの思惑を理解する。 ・19世紀後半にさまざまな国際運動 が進展した背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・独仏国民国家成立を比較し、共通 点と相違点を考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学入試に対応する学力を身につ ける。</p>	<p>・指導事項 ・列強体制の土曜とヨーロッパの 再編成 ・アメリカ合衆国の発展 ・教材 ・詳説 世界史探究 ・最新世界史図説 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したの かを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふま えて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一 を示す地図などをもとに、19世紀後半にヨーロッパ の再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現 している。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々 な人々の議論について考察したりして、課題を主体的 に追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り込む姿勢を身に付ける。

科目 日本史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解する。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。 ○歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	単元 近世から近代へ 【知識及び技能】 幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃討に至るまでの経過を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸から明治に移り変わる過程を意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ・教材 ・詳説 日本史 ・日本史通覧 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国をもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査		○	○		1	
	単元 近代国家の成立 【知識及び技能】 明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代国家成立の過程を意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 ・教材 ・詳説 日本史 ・日本史通覧 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国内体制を欧米の水準に合わせる事が改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
定期考査		○	○		1		
2 学 期 (中 間)	単元 近代国家の展開 【知識及び技能】 不平等条約の改正交渉が進化した過程や、朝鮮問題から日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦に至る経緯について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・日清、日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・教材 ・詳説 日本史 ・日本史通覧 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 議院が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 社会運動の動向、政党内閣制の成立に至る過程を、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査		○	○		1	

2 学 期 (期 末)	<p>単元 近代の産業と生活</p> <p>【知識及び技能】 日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代の産業と生活について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説 日本史 日本史通覧 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代の産業と生活について主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元 恐慌と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説 日本史 日本史通覧 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦争がアメリカやイギリスなどの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 公民 科目 公共演習

教科：公民 科目：公共演習 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 1組～7組
 教科担当者：（1～7組）
 使用教科書：（詳述 公共（実教出版））
 教科 公民

- の目標：
- 【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元 日本国憲法の基本的性格</p> <p>【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 合意形成や社会参画を視野に入れながら、協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 法や規範の意義及び役割などの現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の成立 ・平和主義とわが国の安全 ・基本的人権の保障 ・人権の広がり <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>単元 日本政治機構と政治参加</p> <p>【知識・技能】 現実社会の事柄や課題を基に、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現等】 主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治機構と国民生活 ・人権保障と裁判所 ・地方自治 ・選挙と政党 ・政治参加と世論 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成などに関わる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	3
定期考査			○	○		1
<p>単元 経済活動のあり方と国民福祉</p> <p>【知識及び技能】 現在の日本経済の現状と課題について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本の社会保障制度の課題および労働問題や、労働環境をめぐる課題について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい日本の社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度と福祉のあり方 ・労使関係と労働問題 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>◆諸課題へのアプローチ 「少子高齢社会における社会保障の充実・安定化/多様な働き方・生き方を可能にする社会」</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>現在の日本経済の現状と課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>日本の社会保障制度の課題および労働問題や、労働環境をめぐる課題について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>よりよい日本の社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史

教科：地理歴史 科目：世界史 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1・2・5組の世界史選択者

教科担当者：

使用教科書：（世界史探究 詳説世界史（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 世界史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 文明の成立 【知識及び技能】 文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明が発展した理由を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 文明の誕生 古代オリエント文明とその周辺 中国の古代文明 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文明の誕生について、自分が抱いた疑問に取り組もうとしている。	○	○	○	6
B 単元 中央アジアと東アジア 【知識及び技能】 漢の支配体制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 中央ユーラシア——草原とオアシスの世界 秦・漢帝国 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 統一国家の支配体制について、それまでの時代と比較したうえで理解している。 【思考・判断・表現】 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 秦・漢帝国について、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
1 学期 C 単元 中国の動乱と変容 【知識及び技能】の動きと魏晉南北朝の動乱との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 遊牧民と農耕民族の関係について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 中国の動乱と変容 東アジア文化圏の形成 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 中国がどのような経緯で混乱と統一を繰り返したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 資料をもとに戦争と交易がともに交流の一形態であることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 内陸アジアについて、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
C 単元 ユーラシアの情勢 【知識及び技能】の動きと魏晉南北朝の動乱との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 遊牧民と農耕民族の関係について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 魏晉南北朝 隋唐帝国の繁栄と周辺諸国 イラン諸国家とイラン文明 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 遊牧民と農耕民の交流を理解している。 【思考・判断・表現】 地図や資料を読み取り、内陸アジアの歴史を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアについて、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

1 学 期	C 単元 【知識及び技能】 古代ギリシアとローマとの関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパの自然条件と人の移動との関係について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 ギリシア人の都市国家 ローマと地中海支配（元首制） ・教材詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ローマがどのような経緯で都市国家から発展し地中海を支配するにいたったかを理解している。 【思考・判断・表現】 資料をもとにローマが地中海世界を統一した理由を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 古代ギリシアとローマとの関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパの自然条件と人の移動との関係について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 ローマと地中海支配（専制君主制） キリスト教の成立と発展 ・教材詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ローマが大帝国を築き衰退した背景を理解している。 【思考・判断・表現】 資料をもとにローマが地中海世界を統一した理由を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ローマについて、自分が抱いた興味にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 カール戴冠が世界の歴史において持つ意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ローマ教会とフランク王国の関係を考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 ヨーロッパ世界の形成 西ヨーロッパの封建社会とその展開 西ヨーロッパ世界の変容 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	C 単元 【知識及び技能】 西ヨーロッパが西ローマ滅亡後、どのような世界を形成したかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ世界の形成について、興味・関心にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	C 単元 東ヨーロッパ世界の展開 【知識及び技能】 西欧と異なる歴史を持つ東欧の意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ビザンツ帝国とロシアの関係を考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 ヨーロッパ世界の形成 東ヨーロッパ世界の展開 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	C 単元 【知識及び技能】 東ヨーロッパがどのようにして独自の世界を形成したかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 東方正教会とビザンツ帝国、ロシアとの関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ世界の形成について、興味・関心にそって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
				○	○		1
	C 単元 大交易・大交流時代 【知識及び技能】 「世界の一体化」が始まった時期にアジアでどのような動きがあったかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 モンゴルと周辺諸国との関係を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	モンゴルの大帝国 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 大交易時代の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 資料をもとに、大交易時代の世界情勢を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大貿易時代について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	C 単元 アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 明朝の興亡の原因と清が支配下においた民族をどのように統治したかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 明・清と周辺諸国との関係を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標実現に向けて学習を継続して行うことができる。	・指導事項 モンゴル帝国解体後のアジア アジア交易世界の興隆 清代の中国と隣接諸地域 ・教材 詳説世界史探究 最新世界史図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 資料をもとに、清代の皇帝を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 清代の中国について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>【入試対策演習】 世界史全範囲について、各大学の過去問題を用いて演習を行い、既習事項の定着と応用力の強化を図る。</p>	<p>【指導事項】 互いに教え合うことにより学力向上を図る。 【教材】 ・対策プリント 【指導の工夫】 ・一人1台端末の活用 ・単元テストによる評価</p>	<p>【知識及び技能】 既習内容が定着している。 【思考力、判断力、表現力等】 新出事項を既習事項と結びつけることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 難解な問題にも粘り強く挑戦する姿勢が見られる。</p>	○	○	○	40
							合計

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 1組～7組
 教科担当者：（1～7組）
 使用教科書：（高等学校 政治・経済（第一学習社））
 教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	政治・経済に関する概念や理論などを活用して、課題を把握し、身に付けた判断基準を根拠に構想したことの実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、よりよい社会の実現を視野に、国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 現代政治のあり方 【知識及び技能】 政治や政治権力の意味とその役割、また基本的人権が確立した背景や経緯について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい民主政治のあり方について、諸課題の解決に向けて、社会に参画する自立した主体についての自覚を深める。	・指導事項 ・政治と法の意義と機能 ・法の支配と立憲主義 ・権利と義務との関係 ・人権獲得の歴史 ・議会制民主主義 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 政治や政治権力の意味とその役割、また基本的人権が確立した背景や経緯について理解している。 【思考・判断・表現】 国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい民主政治のあり方について、諸課題の解決に向けて、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元 主権者としての政治参加のあり方 【知識及び技能】 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴、さらに個人の人権、自由や平等などの基本的人権と日本国憲法の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴についてや、日本国憲法と現代政治のあり方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方について、現代社会の諸課題を主体的に解決する。	・指導事項 ・世界の政治体制 ・日本の政治機構と選挙制度 ・基本的人権の保障 ・日本国憲法 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 ◆諸課題へのアプローチ 「主権者としての政治参加のあり方」	【知識・技能】 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴、基本的人権と日本国憲法について理解している。 【思考・判断・表現】 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴についてや、日本国憲法と現代政治のあり方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元 市場経済の機能と限界</p> <p>【知識及び技能】 資本主義経済の特質、株式会社のしくみと株主との関係、国民所得と経済成長、消費者の権利について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 市場の機能と限界や解決のあり方について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 経済活動の活性化について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済の特質 格差問題 株式会社のしくみ 国民所得と経済成長 消費者問題 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 プリント 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 資本主義経済の特質、株式会社のしくみと株主との関係、国民所得と経済成長、消費者の権利について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 市場の機能と限界や解決のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動の活性化について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>単元 持続可能な財政のあり方と金融のはたらき</p> <p>【知識及び技能】 財政における国と地方の役割、金融のはたらきと金融機関の役割について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な財政のあり方、現在の金融をめぐる動向とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 財政や金融に関わる現代社会の諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政の機能 財政政策と課題 金融のはたらきと金融機関 金融政策と課題 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 プリント 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 財政における国と地方の役割、金融のはたらきと金融機関の役割について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 持続可能な財政のあり方、現在の金融をめぐる動向とその課題について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 財政や金融に関わる現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>単元 社会保障と労働問題</p> <p>【知識及び技能】 現在の日本経済の現状と課題について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本の社会保障制度の課題および労働問題や、労働環境をめぐる課題について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい日本の社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会保障制度と福祉のあり方 労使関係と労働問題 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 プリント 一人1台端末の活用 等 <p>◆諸課題へのアプローチ 「少子高齢社会における社会保障の充実・安定化／多様な働き方・生き方を可能にする社会」</p>	<p>【知識・技能】 現在の日本経済の現状と課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本の社会保障制度の課題および労働問題や、労働環境をめぐる課題について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい日本の社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割</p> <p>【知識及び技能】 21世紀以降の国際社会の動向について、また国際連合の機能と主要機関の役割について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 今日の国際情勢の変化を受けて、国際連合はどのような役割を強化するべきかについて多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際社会において日本がこれから果たすべき役割について構想し、諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の変遷 国際法 国際機構の役割 国際紛争 安全保障 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 プリント 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 21世紀以降の国際社会の動向について、また国際連合の機能と主要機関の役割について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 今日の国際情勢の変化を受けて、国際連合はどのような役割を強化するべきかについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会において日本がこれから果たすべき役割について構想し、諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>単元 相互依存関係が深まる国際経済の特質</p> <p>【知識及び技能】 貿易に関する比較優位の考え方、国際分業の利点、地域的経済統合の意義と課題について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際経済の関係において、国益と地球規模での協調が求められている現状と問題点について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい国際社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 貿易の現状と意義 為替と国際収支 国際協調と国際経済機関の役割 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 プリント 一人1台端末の活用 等 <p>◆諸課題へのアプローチ「日本の国際貢献のあり方」</p>	<p>【知識・技能】 貿易に関する比較優位の考え方、国際分業の利点、地域的経済統合の意義と課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際経済の関係において、国益と地球規模での協調が求められている現状と問題点について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい国際社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 ○地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。 ○世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 資源と産業 【知識及び技能】 各資源やそれぞれの産業の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各資源分布やそれぞれの産業の形成要因等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各資源やそれぞれの産業について主体的に探究する態度を養う。	○指導事項 ・農林水産業 ・食料問題 ・エネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題 ・工業 ・第3次産業 ○教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 各資源やそれぞれの産業の特徴を理解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 各資源分布やそれぞれの産業の形成要因等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 各資源やそれぞれの産業について主体的に探究できている。	○	○	○	7
単元 交通・通信と観光、貿易 【知識及び技能】 交通・通信、観光、貿易の特徴や傾向性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信、観光、貿易等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光、貿易について主体的に探究する態度を養う。	○指導事項 ・交通・通信 ・観光 ・貿易と経済圏 ○教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 交通・通信、観光、貿易の特徴や傾向性を理解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信、観光、貿易等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光、貿易について主体的に探究できている。	○	○	○	6
単元 人口、村落・都市 【知識及び技能】 人口問題や村落・都市の成立、各問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人口問題や村落・都市の成立、各問題等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題や村落・都市の成立、各問題等について主体的に探究する態度を養う。	○指導事項 ・人口 ・人口問題 ・村落と都市 ・都市・居住問題 ○教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 人口問題や村落・都市の成立、各問題について理解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 人口問題や村落・都市の成立、各問題等を諸資料の読み取り等を通して考察し、判断・表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題や村落・都市の成立、各問題等について主体的に探究できている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

2 学期	<p>単元 現代世界の諸地域</p> <p>【知識及び技能】 世界の諸地域の特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の諸地域について項目ごとに整理したり、諸資料を読み取ったりする活動等を通して考察し、判断・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の諸地域について主体的に探究する態度を養う。</p>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EU諸国・アメリカ合衆国 ・ロシア・オセアニア諸国 ・中国・韓国・ASEAN諸国 ・インド・西アジア、中央アジア ・北アフリカとサブサハラ ・ラテンアメリカ <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】 世界の諸地域の特徴を理解することができている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の諸地域について項目ごとに整理したり、諸資料を読み取ったりする活動等を通して考察し、判断・表現することができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の諸地域について主体的に探究することができている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学期	一般入試対策演習	<p>・センター試験や共通テストの過去問演習や私立大学入試の過去問演習などを通して、問題形式に慣れて適切に設問に解答できるように指導する。</p>					
						合計	70

雪谷 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史

教科：地理歴史

科目：日本史

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（3組： ） （6組： ） （①： ）

使用教科書：（詳説日本史（山川出版社））

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 日本史

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解する。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。 ○歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元 日本文化のあけぼの</p> <p>【知識及び技能】 人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、堅穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。 【学びに向かう力、人間性等】 原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化の始まり 農耕社会の成立 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説日本史 日本史通覧 日本史史料集 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成に用いる 	<p>【知識及び技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元 古墳とヤマト政権</p> <p>【知識及び技能】 地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 古墳文化の展開 飛鳥の朝廷 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説日本史 日本史通覧 日本史史料集 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成に用いる 	<p>【知識・技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じて、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元 律令国家の形成</p> <p>【知識及び技能】 律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 律令国家の形成について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 律令国家への道 平城京の時代 律令国家の文化 律令国家の変容 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説日本史 日本史通覧 日本史史料集 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成に用いる 	<p>【知識・技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 【思考・判断・表現】 文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と聖徳太子私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元 貴族政治の展開</p> <p>【知識及び技能】 大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 貴族政治の展開について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説日本史 日本史通覧 日本史史料集 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成に用いる 	<p>【知識・技能】 藤原氏が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】 文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

1 学期	<p>単元 院政と武士の躍進</p> <p>【知識及び技能】 院政前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 院政と武士の躍進について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 院政の始まり 院政と平氏政権 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説日本史 日本史通覧 日本史史料集 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成に用いる 	<p>【知識・技能】 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>単元 武家政権の成立</p> <p>【知識及び技能】 鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 武家政権の成立について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の成立 武士の社会 モンゴル襲来と幕府の衰退 鎌倉文化 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説日本史 日本史通覧 日本史史料集 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成に用いる 	<p>【知識・技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>単元 武家社会の成長</p> <p>【知識及び技能】 諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 武家社会の成長について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説日本史 日本史通覧 日本史史料集 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成に用いる 	<p>【知識・技能】 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>単元 近世の幕開け</p> <p>【知識及び技能】 大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近世の幕開けについて意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 織豊政権 桃山文化 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説日本史 日本史通覧 日本史史料集 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成に用いる 	<p>【知識・技能】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 幕藩体制の成立と展開</p> <p>【知識及び技能】 経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制の成立と展開について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の成立 幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展 元禄文化 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説日本史 日本史通覧 日本史史料集 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの作成に用いる 	<p>【知識・技能】 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。</p>	○	○	○	14

	<p>単元 幕藩体制の動揺</p> <p>【知識及び技能】 欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制の動揺について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳説日本史 ・日本史通覧 ・日本史史料集 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等 ・レポートの作成に用いる 	<p>【知識・技能】 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
3 学 期	問題演習	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去問指導等 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト・センター試験の過去問等 ・一人1台端末の活用 等 ・レポートの作成に用いる 	<p>【知識・技能】 従前の日本史の学習内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 従前の日本史の学習内容をふまえて、多面的・多角的に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に課題に取り組んでいる。</p>				40
							合計 140

